



進路だより

令和5年10月31日発行
第2号

都立城東特別支援学校長
佐藤 亜紀子

今回の「進路だより」は、進路・キャリア教育に関する取り組みについてお伝えします。



<進路講演会について>

小学部教諭・松井まなみ

7月25日(火)創価大学の山内先生をお招きし、保護者と教員を対象に御講演いただきました。

「選ぶ」をテーマに、まず、発達障害のある兄弟の動画を視聴しました。「自立した生活をするために」と兄弟の御両親は、「彼らの能力や思いにあったところを選ぶようにする」ことを意識して進路を決めていきました。彼らは社会人として働いており、就労先の方は「得意なことを見付けてあげることをまず心がけている」ということを言っていました。参加者は「自立した社会生活を送る」ために、どのように支援したらいいのかを考えることが大切であることを学びました。

その後、子供が「選ぶ」ために私たちがすることをグループに分かれてディスカッションしました。その中で、「いろいろな経験が大事」「選択肢を増やす」「子供の発語が少ないからといって、選択肢を摘んでしまわないようにしていきたい」など、様々な意見を共有しました。

後半は高等部へ行った時の進路のお話について、卒業後は企業就労と福祉就労があること、それぞれの事業の簡単な説明、そして、「必要な力は日々学校と家庭とで連携しながら積み上げて行きましょう」との話がありました。最後に、障害者雇用を積極的にすすめている日本理科学工業株式会社前社長のお話の中で、「人間の一番

の幸せは4つあります。愛されること、褒められること、役に立つこと、人に必要とされることです」と紹介がありました。子供たちが今も未来も幸せを感じられるようになるために、教員は日々精進していかなければ!と気持ちを引き締めました。



<就業体験> (小学部6年)

小学部教諭・阿南翔

小学部6年生は「主事さんのお仕事を知ろう」との単元で、「竹刀絞り」「机拭き」「手すり拭き」に取り組みました。昨年度、主事さんから教えていただいた手順を確認しながら、机を拭いたり、学校の手すりを拭いたりすることができていました。日々の給食のお手拭きや配膳台の机拭きでも学習が生かされています。



＜就業体験＞（中学部 1 年）

中学部主任教諭・橋本由美

9月8日（金）に、親子清掃体験を行いました。昨年度までは、新型コロナウイルスの影響で生徒のみの参加でしたが、今年度は、保護者も参加しました。雑巾の絞り方や机の拭き方、自在ぼうきやフローアーマップの使い方など、清掃の基本的動作について、公益社団法人東京ビルメンテナンส์協会の方から指導していただきました。

生徒たちは、しっかり話を聞き、手順を確認しながら作業をしました。職業・家庭の授業で、教えていただいたことを復習することで、少しずつ上手になってきました。今後、教室清掃、授業の最後の片付けの清掃などに生かしていきたいと思います。



＜教員施設見学＞

中学部主任教諭・橋本由美

夏休みに、教員の施設見学を実施しました。江東区障害者福祉センター（生活介護、就労継続支援 B 型）、のびのび作業所フーズ（生活介護・就労移行支援 B 型）、ジョブ・サポート・プラザちよだ（生活介護・就労継続支援 B 型・就労移行支援）、株式会社 L I X I L の 4 ヲ所に行きました。

卒業生などの働いている様子を見学させていただいたり、事業所の方から話を伺ったりすることで、社会生活について知るよい機会となりました。

江東区障害者福祉センター
（生活介護、就労継続支援 B 型）



のびのび作業所フーズ
（生活介護・就労移行支援 B 型）



ジョブ・サポート・プラザちよだ
（生活介護・就労継続支援 B 型・就労移行支援）



株式会社 L I X I L

